



子どもたちの 心に響く働きかけ

学校復帰支援シンポジウム

不登校経験のある子どもたちによる、体験発表・シンポジウムを行います

第1回

ストレスが脳の中でどのような影響を及ぼすか



日時 平成22年 **6月26日** (土) **13:00～15:00** 会場 **こども教育支援財団** (仙台分室)

講師 **伊藤 美奈子** (慶應義塾大学教授、財団ディレクター、臨床心理士)

京都大学大学院教育学研究科博士課程修了、大阪府内の私立高校で6年間教員として勤務された後、大学院で心理学を学び、南山大学講師、お茶の水女子大学大学院助教授を経て、現職。臨床心理学(学校臨床)と発達心理学を専門とされており、スクールカウンセラーとして学校現場にかかわりながら、障害児・青年期の子どもたちへの支援や、不登校、いじめ、虐待や自衛行為など多様な教育問題に取り組まれています。

第2回

学校復帰に向けたコミュニケーションスキル



日時 平成22年 **10月2日** (土) **13:00～15:00** 会場 **こども教育支援財団** (仙台分室)

講師 **堀之内 高久** (横浜国立大学准教授、財団ディレクター、臨床心理士)

筑波大学大学院教育学研究科修士課程修了。教育センター・教育相談員、横浜国立大学講師等を経て、現職。家庭関係論、家族療法をご専門とされており、課題の解決にあたっては個人にとどまらず、家族、地域、学校、文化といったレベルにまで視点を広げ、その中でどのように課題に取り組んでいくのかを考えるとというアプローチを展開されています。また、過去の属していた経験を乗り越えるためのトレーニングについても研究されています。

第3回

家族療法からの視点



日時 平成22年 **11月27日** (土) **13:00～15:00** 会場 **こども教育支援財団** (仙台分室)

講師 **長谷川 啓三** (東北大学大学院教授、財団アドバイザー、臨床心理士)

東北大学大学院博士課程修了、教育学博士、Metal Research Institute海外代表、日本心理臨床学会理事、日本家族心理学会常任理事などを兼任。臨床心理学をご専門とされており、不登校の子どもたち、家族への支援に取り組まれることにも、いじめ、非行など広く教育問題に関し研究を行っておられます。

第4回

コミュニケーションの築き方



日時 平成23年 **2月12日** (土) **13:00～15:00** 会場 **こども教育支援財団** (仙台分室)

講師 **東 宏行** (埼玉県立大学准教授、財団ディレクター、学校心理士)

東京大学大学院修士課程修了。教育センター相談員を経て、放送大学、専修大学など多くの大学において教職をとり、現職。学校カウンセリング、教育学をご専門とされており、不登校やいじめなどの教育問題に常に実践的に取り組まれています。私立高校スクールカウンセラー、財団カウンセラーとして多くの不登校児童生徒や保護者への支援を行われています。

サポートプログラム お申し込み・資料請求・お問合せ

費用 各回5000円(資料代等)

文部科学省認可

財団法人こども教育支援財団 [仙台分室]

〒984-0051 宮城県仙台市若林区新寺1-7-20 FAX : 022-791-3444

こども教育支援財団 HP : <http://www.kodomo-zaidan.net/>

E-mail : sendai_info@kodomo-zaidan.net

TEL: 022-256-5554



財団法人こども教育支援財団は、これからの時代にあるべき教育の姿を模索するため、平成13年4月、文部科学省の認可を受けて設立しました。そのうえで、子どもの個性や能力に応じた教育の実現、健全な心身の育成・発達を支援し、こどもの「生きる力」を育み、学校、家庭、地域社会との密接な連携のもとに各種の教育支援活動を行っています。ここに、深刻な社会問題となっている「不登校」についても、復帰支援の場「元気の泉」を設け、全国13万人の不登校児童・生徒をサポートしながら、学校復帰支援や復帰後の居場所づくりを実現しています。

後援：宮城県教育委員会/仙台市教育委員会/河北新報社
独立行政法人福祉医療機構(子育て支援基金)助成事業